

後頭蓋窩腫瘍

前原 忠行*

脳腫瘍の診断，とくにその局在診断におけるコンピュータ断層撮影 (CT) の価値は多くの認めるところで，検査が完全に行われさえすれば，ほぼ 100% の検出率といわれている．天幕上の腫瘍に関しては，すでに多くの報告が見られるので，ここでは天幕下，すなわち後頭蓋窩の脳腫瘍にかぎって，中でもそれらの性質の判断に CT がどの程度役に立つかという点を中心に，代表的症例を供覧し解説を加えることにする．

* Tadayuki MAEHARA 東京大学医学部・放射線科講師